

別府峡最奥の尾根山歩

高知と徳島の県境に広がるこの尾根にはまるで五百羅漢のようにフナの大木群が威風堂々と根を張り、枝を伸ばし並び立つ。この豊かな植生が生み出す森の恵みはツキノワグマをはじめ、97種類の生物の命を育んでいる豊かな森でもある。人の手がほとんど入っていない最後の聖域。

震しい三嶺がもっとも美しいに思われまう。

三嶺山系のゴールゴース

平和丸 1700.8m
ササ原が広がる

石立分岐

石立山まで7km

互剣山



中ジル沢分岐

刃防護柵
オオヤブレンゲ

金山や次郎三嶺がよく見える。

三重稜線

水たまり

大崩壊

中ジル沢分岐

分水嶺

中東山 1684.6m

阿波の中ほど、工佐の東にある静かな山

急勾配。下りは慎重に！上りはキツイ！

国有林の境界標があるが、心強い目印になる。

最低鞍部

みことなフナ園地

大きな樹木の詩が聞こえてきた。

タムシの白い花 (4月下旬)

通行注意

崩壊

深い谷を一望

ヤセ尾根

石立山を正面に見る



この坂、きつい

危険！要注意！

捨身嶺

石立山

西山峰 1707.7m

石立山頂は祠の跡がある。一面のササ枯れにあって荒野のような空間が広がる。

7km高瀬山分岐→石立山25分

山頂からはヤブ・一本山頂

石立山植物群落保護林
イダダクサツラハシと筆頭に希有植物の豊かな植生

山頂からはヤブ・一本山頂

2014.4.26
山行



手黒にうるんだ瞳でじっと見つめる時がある。人と森、動物の共存が大きな課題と向き合っているように見える。

ササ栂

このコースのササはほとんど枯れている。はたしてシカだけが原因か？ササは50年に1度花を咲かせて枯れるという説もある。毎年のように。

大橋杯道

三嶺～剣山、石立山。ぐるりと剣山系を見わたせる。

スナ五百羅漢のシババコース

稜線にはスナの大木がまるで五百羅漢のように根を張り並んでいる。フナの大木に仙人に出会え、そんな気配も感じられる。静かだ。スナの大木が輝くシルバーコースだ。

土阿回境を歩く人の気配はまったくない。静かな稜線。自分の呼吸と足音と荷物のすれあう音以外はスナの大木と吹く風の音。やわらかな光のうつろいの甲、甘やかな森の香りに、つまれる感じは自然の中にとけこんだか、幻想すら覚える。独りの山は深い。

スナの大木に広がる空を見上げる。日常のささいな悩みを一時忘れさせてくれる。空の上には県境の境界標が目を惹く。もちろん、主義や主張や他者の意見もない。ただ、空が広がっているだけ。

森の中の生物のいのちが天に昇ると、森の空に虹が架かるといふ。

静かな山歩きのできるコース。キーンという音のほろり、耳の中で聴こえる。ここにあるのは手つかずの自然と時間だけだ。

山に行く、山を歩く、山で何かをつかむ、しかし帰るときはそれを思い出すために、また山へ行き、山を歩くことを繰り返す。

竜頭谷



たくさんの生物たちの命を育む豊かな森

平和丸が見える

急斜面

石立山植物群落保護林
イダダクサツラハシと筆頭に希有植物の豊かな植生

森の守護神
ゴンタ

至別府峡

